



さぬき市民病院 No.67

# 院内かわら版

編集 総務企画課 令和2年3月6日(金)

## ■医療安全研修会開催 [2月18日、19日]

2月18日(火)、19日(水)の2日間、当院2階会議室で、職員全員を対象に「各部署で取り組んだインシデント対策」をテーマに全17部署に発表いただきました。

そのうちのひとつに、4西病棟の取り組みとして、「誤薬 点滴実施手技の徹底」「転倒転落 RCA分析結果」が紹介されました。与薬に関する事故は、医療事故のなかでも頻度が高く、誤薬を防止するために、与薬原則6R「正しい患者・正しい薬剤・正しい目的・正しい容量・正しい方法・正しい時間」が推奨されています。これらの事項を確認し、医療事故のリスクを回避するよう、十分な注意が必要です。また、転倒転落事故に関してのRCA分析を行った結果、いくつかの原因が分かりました。そこで対策として、臨床センサー使用時に、センサーコールON・OFFカードを作成実施しました。その結果、現在までに臨床センサーがOFFの状態での転倒転落は発生していません。



### 離床センサー使用時の対策

センサーコールON・OFFカード



このように、経験したインシデントを洗い出し、対応策を講じていくことこそが重要です。今後も、効果的な対策とチームワークを高め、医療事故防止に努めていきたい、ということです。

## ■ハラスメント防止職員研修開催 [1月17日]



1月17日(金)、当院2階会議室にて、ハラスメントコンサルタントの仁賀順子氏をお招きし「職場におけるハラスメントについて ~理解・防止・対応~」についてお話しいただきました。

ハラスメントには多様な種類があり、いろいろな場面での「いじめ」や「嫌がらせ」のことを指すそうです。

行為としては、身体的な攻撃、精神的な攻撃、人間関係からの切り離し、過大な要求、過少な要求、個の侵害などがあります。この問題が及ぼす影響は、被害者の働く意欲低下、

メンタル不調などだけでなく、周囲や組織、行為者への影響も計り知れません。また、今年の6月1日からは、パワーハラスメント防止対策が義務化されます。院内でも委員会が発足しました。職員の皆さんが、行為者にも被害者にもならないためにも、理解、防止、対応について考えていく必要があります。日頃から良いコミュニケーションを心がけ、そのような行為を発生させない職場づくりを心がけていきたいものです。

### II-9 職場でハラスメントが起きてしまったら

#### ◆ハラスメントを受けた人は

- ハラスメントを我慢していても解決しません。何もしないと、逆にエスカレートする可能性もあります。そうならためには
  - ・拒否する、NO!と伝えること
  - ・記録をすること
    - 誰が、いつ、どこで、どのような言動だったか、目撃者はいるか
    - その時自分はどのように反応したか、感じたか
  - ・相談する
    - 上司、同僚、相談窓口、労働局 等

#### ◆ハラスメントに気付いた人は

- 見て見ぬふりをしては職場環境が悪化してしまうかもしれません
- 他人ごとではなく、自らにも降りかかってくる可能性もあります
- 勇気をだして職場の同僚として注意を促すなどの対応をとりましょう
- 被害者に声をかけて相談に乗る、上司等に相談などしましょう
  - 禁句：「そんなことをされるあなたに問題があるのでは」「それはあなたの思込でしょう」「あの人はそんなことをする人じゃないよ」等
- 被害を受けて相談した同僚を決して問題児扱いしてはいけません。問題なのは行為者です

※一部資料抜粋

## ■あそびイベントー節分の豆まきー

2月3日(月)には、3階東病棟(地域包括ケア病棟)で、節分の豆まきをしました。



職員が新聞紙で作った豆を、利用者さんたちが鬼に向かって、明るい掛け声とともに楽しそうに投げていました。利用者さんからは、「子ども時分に戻ったような気持ちになった」と、とても喜んでいただきました。

## ■第3回院内感染対策研修会開催

1月20日(木)、当院2階会議室で、職員個々の感染防止に対する知見および、意思の向上を図ることを目的に、感染管理認定看護師の井原さんが、「新型インフルエンザについて」お話をしました。標準予防策の重要性を改めて考え、理解していただきたいと思います。



## ♥ 新人スタッフ紹介

2月から新たな職員が加わりましたので、ご紹介します。



ただ かずや  
多田 一也

[患者サービス課]

院内のIT環境整備に努めますので、宜しくお願いします。

## ■院内研究発表会開催 [2月15日]



2月15日(土)当院2階会議室で、第13回さぬき市民病院院内研究発表会を開催しました。当日は100名の参加があり15演題が発表されました。発表者の皆さんはもとより準備等にご協力された方々、大変お疲れ様でした。なお、審査の結果は次のとおりです。

### 1位 リハビリテーション技術科 村川 勇一

「当院高齢者肺炎患者に対する早期呼吸リハビリテーション・栄養療法介入の有効性」

### 2位 麻酔科 植村 直哉

「経会陰式前立腺生検術におけるMACと硬膜外麻酔の比較」

### 3位 薬剤科 大森 美希

「外来患者の支援業務 -疑義照会を中心に-」

## ■満足度調査アンケート実施

2月10日(月)、13日(木)の午前中、患者サービス向上委員会が中心となり、当院受付前エントランスホールにて、来院者の方を対象(120名)にアンケート調査を実施しました。

「皆さん、親切で丁寧に対応してくれます」というご意見がある一方で、「体調が悪いなか来院しているのに、対応が悪い」とのご指摘もありました。患者さんから頂いたご指摘の内容については、改善に向けて取り組んでいただきたいと思います。

また、ご協力いただきました皆さんありがとうございました。



## ♥ ほっと、一息 生花集 by おちゃめの会

毎週、素敵なお花を飾ってくださる、生花愛好グループ『おちゃめの会』のボランティアさんたちによる2月、3月の生花をお楽しみください。



## ◎新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の対策について、当院でも院内感染防止対策委員会が中心となり、日々対策に取り組んでいます。感染症の広がりの懸念を受け、さらに徹底した取り組みが必要な状況です。2月29日(土)の午後からは、当面の間、すべての面会希望者を対象に、「面会制限」を行っています。患者さんに安全な医療を提供できるよう、職員のみなさんのご協力をお願いいたします。

